

低粘度・低塩素エポキシ樹脂 高耐熱・高強度エポキシ樹脂

開発品

低粘度・低塩素エポキシ樹脂

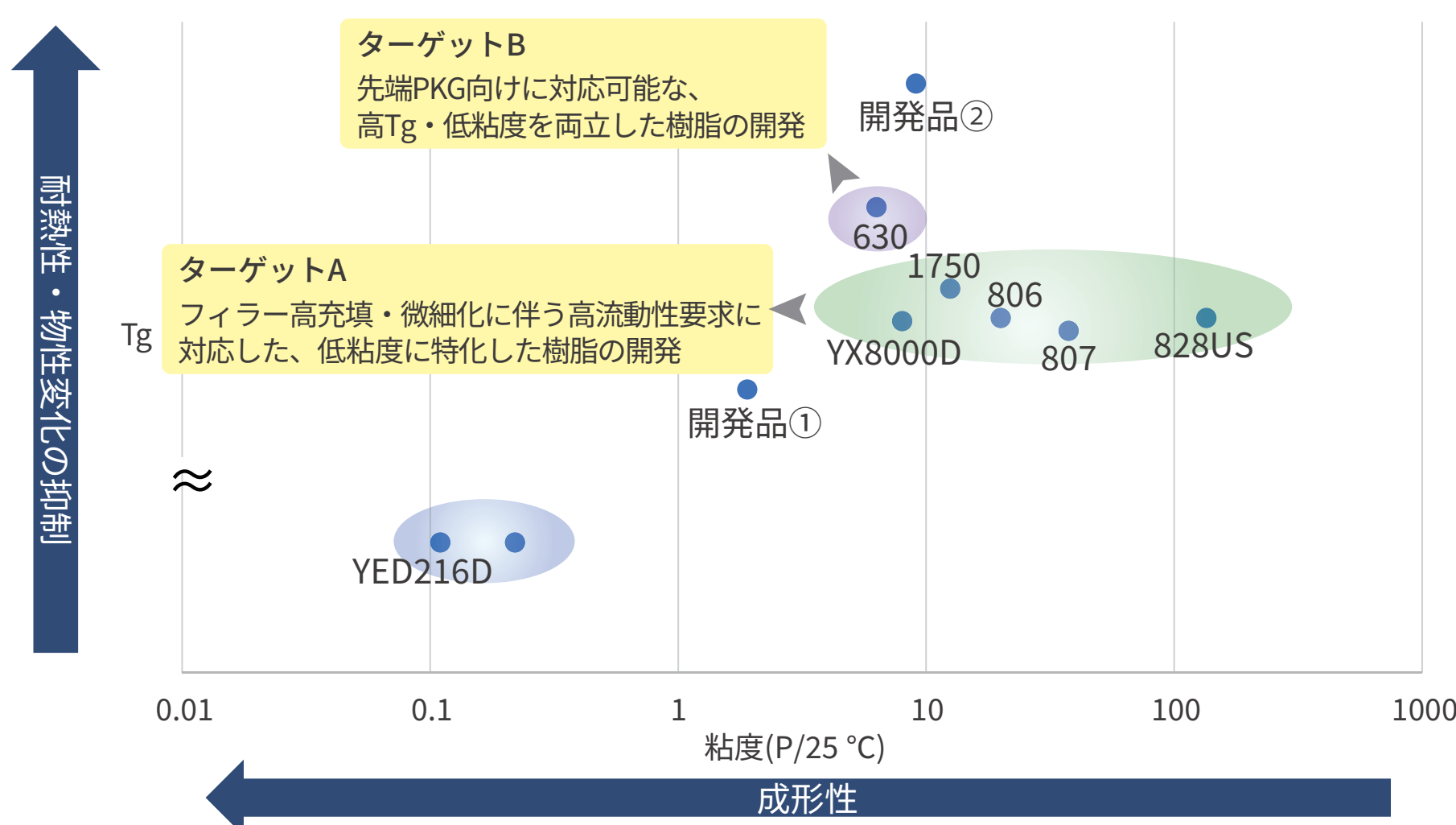
製品説明

- ① 高耐熱・低粘度の液状エポキシについて多くのラインナップを取り揃えております。また更なる新規開発にも取り組んでおります。
- ② 新たな合成手法により、高信頼性（低塩素）とハンドリング性（低粘度）の両立を達成しております。

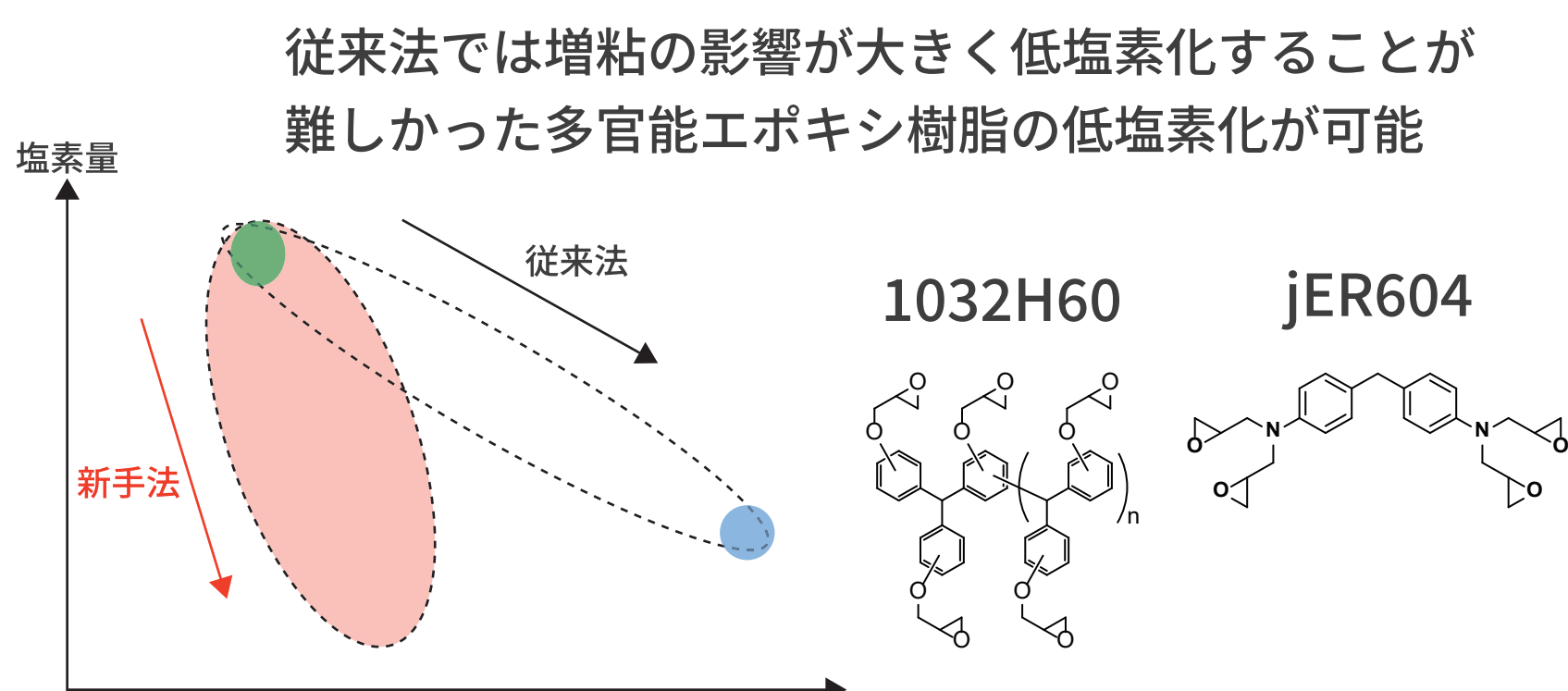
用途

- ① 液状封止材、接着剤、構造材など
- ② 高信頼性封止材、組成物ハロゲンフリー対応など

液状封止材向け現行品、開発方針



低塩素化新手法



	YX4000	YL6677	157S70	1032H60	1031S
構造					
Tg TMA	123	159	172	179	178
T-Cl 処理前	880	1130	840	640	1060
T-Cl 処理後	70	170	380	100	160
硬化条件	フェノールノボラック(Ex:OH=1:1)/TPP(0.25phr) 120°C×2hr+175°C×6hr				

	630	604
構造		
Tg TMA	195	216
T-Cl 処理前	4880	5190
T-Cl 処理後	980	1400
硬化条件	酸無水物(HN-2200)/2-メチル-4-エチルイミダゾール(0.25phr) 120°C×2hr+175°C×6hr	

高耐熱・高強度エポキシ樹脂

製品説明

- 本エポキシ樹脂は新規多官能骨格により、Tgの高さを保ちつつ高弾性率化を達成しております。
- 液状、固体状、どちらの性状でも供給可能です。

用途

- 複合材（CFRP など）、接着剤、封止材、など

特徴：多官能タイプ
高粘度液状樹脂～結晶性固体



TSCA: 未収載
REACH: 未収載
ENCS(Japan) 未収載(少量新規1t/y)

高粘度液状樹脂



固体化も可能



特性	YL9145	参考 jER604
エポキシ当量 [g/eq]	115	120
性状(常温下)	高粘度液体	高粘度液体
開発ステージ	開発品	上市品

硬化物性			YL9145	参考: jER604	参考: jER828
曲げ	強度	MPa	192	171	136
	破断歪み	%	7.2	9.4	11.3
	弾性率	GPa	4.0	3.5	3.2
DMS	Tg(tanδ)	GPa	208	190	143

・硬化物作成条件
配合比: 828/X=50/50, 硬化剤: DICY、硬化促進剤: DCMU、硬化条件: 80°C 1h + 130°C 1.5h

